

海老名市立有馬中学校 学校運営協議会 議事録  
(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年10月26日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立有馬中学校 図書室
- 3 出席委員 木村和雄委員長、橋本瑞貴副委員長、森下賢人委員、三田英樹委員、大島千佳委員、宮台功委員、久保谷由美子委員、山口篤委員、越智雄平委員
- 4 会議内容(司会:越智教諭)
  - (1) 開会の挨拶  
山口教頭:開会の挨拶。
  - (2) 第76回体育祭(応援合戦)の動画視聴
  - (3) 動画視聴の感想  
塩井委員:とても良かった。実際に見ていたが、素晴らしい体育祭だった。  
三田委員:有馬中学校の応援合戦はとても迫力があり、見応えがある。  
木村委員長:応援合戦を通してどういう力をつけたいのかが大事であり、達成感を感じさせたい。「なぜ体育祭をやるのか」の意味を表面的なことではなく、内面に迫れるかが大事。  
宮台委員:とても一体感、連帯感がある。この伝統を継続していきたい。  
大島委員:学校行事において、悩みながら活動をすることがとても大事。子供たちの課題解決力につながり、社会人としての力になっていく。  
森下委員:低学年が3年生に憧れを持つことが、有馬中の伝統を引き継いでいる。  
橋本委員:コロナが明けて声が出ていた(保護者も含めて)。とても良い雰囲気であった。
  - (4) 授業参観  
校内視察。
  - (5) 議事「令和6年度学校経営計画について」  
久保谷校長より説明。  
木村委員:教育とは人間教育である。どういう人間に育てていくか、社会に出て通用するような学校生活であると良い。  
大島委員:自分の力だけでは思うようにいかないことがある。人の力を借りられるようにできるとよい。そういう人間性が育まれるのは中学生までだと思う。  
橋本委員:生徒のために手助けできるのが学校運営協議会なので、いつでも言ってほしい。  
宮台委員:令和6年度も学校教育目標を継続しながら、生徒の将来のために自信を持たせられるような取り組みや声かけができるとよいと感じる。また、話し合った内容の具体化や地域との連携をさらに持たせられるような取り組みをしたい。
  - (6) 議事「令和6年度学校予算について」  
山口教頭より説明。
  - (7) その他  
越智教諭:次回の学校運営協議会の日程確認。  
令和6年2月7日(水) 10:00~